

ISSN 0910-9293

宮城県保健環境センター年報

平成5年度

ANNUAL REPORT
OF
MIYAGI PREFECTURAL INSTITUTE OF PUBLIC HEALTH AND ENVIRONMENT

No.12 1994

宮城県保健環境センター

はじめに

ここに平成5年度の年報をお届けいたします。ご高覧のうえ、ご意見を賜れば幸いです。

さて、昨年度は長引く景気の低迷、急激に進む円高、そして冷夏による米の凶作と米どころの本県にとりましても最悪の年となりました。私どもにとりましても、緊急輸入米の残留農薬の検査をはじめ、水道水質基準並びに水質環境基準の大幅な改正に伴い、検査業務が著しく増加するなど多忙な年でした。お陰さまで関係各位のご協力と所員の努力によって、ほぼ目標を達成することが出来ましたことに、改めて感謝を申し上げます。

ところで、国においては新しく地域保健法が制定され、また、一方では環境基本法が成立するなど新しい時代にむけて、法の整備が進められております。私どもの機関の果たす役割もますます大きくなって来るものと思います。本県におきましても平成5年8月、新しい構想のもとに保健と福祉の一体化に伴う本庁部・課の再編が行なわれ、また、当センターといたしましても前年に引き続き、新しい時代を睨んでの将来構想づくりに積極的に取り組んで参りたいと思いますので、ご指導、ご協力をお願いいたします。

平成6年11月

宮城県保健環境センター

所長 仲田 忠二

目 次

A 事業概要

I 総 説

| | |
|-------------------|---|
| 1. 沿 革 | 1 |
| 2. 機構及び業務分担 | 1 |
| 3. 職 員 | 2 |
| 4. 予算及び決算 | 3 |
| 5. 主要機械器具 | 3 |

II 各部の概況

| | |
|-------------------|----|
| 1. 情報管理部の概況 | 7 |
| 2. 微生物部の概況 | 11 |
| 3. 理化学部の概況 | 18 |
| 4. 環境衛生部の概況 | 25 |
| 5. 大気部の概況 | 28 |
| 6. 水質部の概況 | 32 |

B 調査研究

I 論 文

| | |
|--|----|
| 1. パーソナルコンピュータによるリモートセンシングデータ表示プログラムの開発 | 37 |
| 白取 博志 小室 健一 高橋 富基 | |
| 2. 宮城県における1歳6か月児神経芽細胞腫マス・スクリーニング(第2報) | 40 |
| 清野 陽子 菊地奈穂子 菅原 直子 佐藤 由紀 | |
| 加茂えり子 白石 廣行 山本 仁 | |
| 3. <i>Campylobacter jejuni</i> の血清群別について | 44 |
| 上村 弘 荒井 富雄 山本 仁 | |
| 4. 宮城県におけるツツガムシ病 —1984~1993年までの発生状況— | 46 |
| 秋山 和夫 植木 洋 山本 仁 | |
| 5. 食品中の天然着色料コチニール色素, ラック色素の分析 | 51 |
| 小林 孜 三浦 正隆 | |
| 6. 平成5年度食品残留農薬実態調査 | 55 |
| 須藤由希子 大槻 良子 加藤 玲子 高槻 圭悟 | |
| 三浦 正隆 | |
| 7. 浄水処理工程における消毒副生成物について | 60 |
| 鈴木 康民 氏家 愛子 大金 仁一 高橋紀世子 | |
| 阿部 時男 白地 良一 | |

| | | |
|---------------|---|-----|
| 8. | 水道水質基準および監視項目に係わる農薬13種の固相抽出法溶出溶媒の検討 | 67 |
| | 氏家 愛子 阿部 時男 白地 良一 | |
| 9. | 幹線道路近傍のNO _x 濃度について | 71 |
| | 鈴木 壽雄 大倉 靖 佐藤 博明 齋藤 善則 宮崎栄一郎 | |
| 10. | SO ₂ 自動測定におけるマイナス振れの要因について | 76 |
| | 佐藤 信俊 加賀谷秀樹 百川 和子 吉田 徳行 宮崎栄一郎 | |
| 11. | 宮城県大気汚染常時監視システムの更新概要 | 80 |
| | 加賀谷秀樹 吉田 徳行 佐藤 信俊 百川 和子 宮崎栄一郎 | |
| 12. | 有機質肥料製造施設の悪臭実態調査結果(第2報) | 88 |
| | 新垣 康秀 嵯峨 京時 宮崎栄一郎 | |
| 13. | 環境臭気調査結果について | 93 |
| | 嵯峨 京時 新垣 康秀 加賀谷秀樹 宮崎栄一郎 | |
| 14. | 南川ダムの水質調査について | 98 |
| | 水質部(文責:富塚 和衛) | |
| 15. | 畑地に散布された除草剤シマジンの環境中における挙動について | 102 |
| | 高橋 正弘 柳 茂 野村 保 粟野 健 氏家 愛子 小笠原久夫 | |
| 16. | 水平透明度による水環境評価の試み | 107 |
| | 佐々木久雄 濱名 徹 佐藤 勤 富塚 和衛 小笠原久夫 | |
| II 資 料 | | |
| 1. | 6か月児神経芽細胞腫マス・スクリーニング | 112 |
| | 菊地奈穂子 菅原 直子 佐藤 由紀 清野 陽子 加茂えり子 白石 廣行 山本 仁 | |
| 2. | 新生児マス・スクリーニング | 114 |
| | 白石 廣行 川野 みち 佐藤 由紀 | |
| 3. | 1993年・感染症サーベイランス事業 —病原体検出情報— | 115 |
| | 微生物部(文責:荒井 富雄) | |
| 4. | 医薬品の検査結果について(平成5年度) | 117 |
| | 阿部 祐二 大槻 良子 清野 陽子 三浦 正隆 | |
| 5. | 平成5年度輸入米の残留農薬等検査結果 | 118 |
| | 加藤 玲子 須藤由希子 大槻 良子 阿部 祐二 小林 孜 三浦 正隆 | |

| | |
|--------------------------------------|-----|
| 6. 釜房ダムの湖沼水質保全計画に係わる水質調査結果について (第1報) | |
| —伐採跡地の降雨時面源負荷連続調査— | 122 |
| 富塚 和衛 濱名 徹 佐々木久雄 佐藤 勤 | |
| 小笠原久夫 | |
| 7. 七が宿ダム流入水水質調査 (第1報) | 125 |
| 清野 茂 佐々木久雄 佐藤 勤 富塚 和衛 | |
| 濱名 徹 小笠原久夫 | |
| III 他誌投稿論文抄録 | 128 |
| IV 学会発表 | 130 |
| C その他 | |
| I 研究発表会 | 132 |